



ほんものを たべよう

提出日				
1/	火	水	木	金
	7	8	9	10
配達日				
1/	火	水	木	金
	14	15	16	17
翌々週配達日				
1/	火	水	木	金
	21	22	23	24

2014. 1月3 週号

Alter Weekly Order Catalogue

オルターの提案

- 本場に安全な食べものを手渡すために
- 「だれが・どこで・どのようにつくったか」の情報を日本一公開します。
 - 「国産」「無農薬」にこだわり、日本の伝統食を守ります。
 - 原料段階・飼育段階からポストハーベスト農薬、遺伝子組み換え、放射能汚染、トランス脂肪酸、食品添加物などを徹底的に追放します。
 - プラスチック容器・レトルト食品を追放します。

ナプキン SANITARY NAPKIN

女性に優しい 衛生用品

からだを冷やす高分子吸収材は不使用。

日本グリーンボックス(株)

文責 西川 榮郎(NPO 安全な食べものネットワーク オルター 代表)



山中利一社長

ナチュラムーン開発者
平田真子さん

安全・安心な紙ナプキンがほしい

オルターでは生理用ナプキンとして、布ナプキンをおすすめしています。その理由は安全性が高いこと、環境負荷が少ないこと、経済性にも優れているからです。

しかし、布ナプキンを普段使っているけれど外出時には持ち歩きなどに不便で、どうしても使用が難しい方や、洗うのが面倒という方、臭いが気になる方もあり、心地よさと裏腹なハードルの高さがありました。そして、安全・安心な紙ナプキンがあれば助かるという声がありました。

心地よさが実感できる紙ナプキン

京都府長岡京市の日本グリーンボックス(株)山中利一社長はそんな安全な紙ナプキン待望者の声にこたえて、女性に優しい安全・安心の生理用ナプキン「ナチュラムーン」を開発しました。現在市販の紙ナプキンを使用している方で、カブレやムレが気になっている方、肌が敏感でむず痒くなったりしてしまう方、エコ志向の方にも朗報です。これまでになかった紙ナプキンの心地良さが体験できます。

トップシートは肌に優しいコットン

ナチュラムーンは、トップシートがコットンの不織布でできています。女性のデリケートな肌に触れるトップシートが、肌に優しいコットンだけでできている不織布は、保温性も高く、かぶれにくく、吸湿性にも優れているので、ムレにくく、敏感肌にも優しい肌触りです。

からだを冷やす高分子吸収材は不使用

また、高分子吸収材を使っていません。石油由来材料の高分子吸収材は、経血の水分を吸収しジェル状に固める際、デリケートゾーンからの冷えを引き起こす原因になるといわれています。ナチュラムーンはこの高分子吸収材を使っていませんので、体を冷やさずあたたかいです。

高い機能性

エアスルーフィルムを採用し、ムレにくくしています。吸収材には吸収力の高い、綿状パルプを使っています。キルティングプレスを施すことで、ヨコモレを防ぎ、動いても装着時の形状を保っています。

漂白剤にも気をつけています

医薬部外品である生理用ナプキンは、トップシートが純白に漂白されていないと認められません。このために安価ですが、危険性の高い塩素系漂白剤が一般には使われます。

外陰部は皮膚からの吸収率が身体の中で一番高く(二の腕の内側を1としたとき、外陰部の経皮毒吸収率は42倍)、化学薬品の使用は極力控えるべきです。

ナチュラムーンでは、漂白剤として人体や自然環境への影響がない酸素系漂白剤の過炭酸ナトリウムを使用して、漂白剤による肌への負担を極力減らしています。さらに無着色・無香料にもこだわっています。布ナプキンの、体に優しく肌触りもよいという特徴を紙ナプキンで実現しています。

一人の社員の熱意が生んだ製品

日本グリーンボックス(株)は1969年創業。当時自治体のゴミ回収システムは、容器に入れたゴミを直接ゴミ収集車に入れるような形で行われていましたが、ロー引きの紙袋にゴミを入れて回収する新しいゴミ処理システムを地方自治体に提案、販売を始めていました。このシステムが1970年に大阪万博で採用されたのを機に、全国展開を果たしました。

その後、耐熱性能の低い自治体の焼却炉用に「炭酸カルシウム入りのゴミ袋」の開発、ダイオキシン対策に多孔質の活性アルミナでダイオキシンを吸着する技術、首都圏をはじめゴミ減量のための有料指定袋システムの開発など、次々と人と環境にやさしい事業を展開してきました。1989年には日本盛米ぬか美人化粧品シリーズを販売し、「ナチュラル」「エコ」「天然素材」をテーマに家庭用品部門へも事業を拡げました。

ナチュラムーンの開発は、営業担当の平田 真子さんが会社に提案し、実現しました。自ら敏感肌のため、布ナプキンの愛用者として、外出時の布ナプキンの不便さから安全・安心な生理用紙ナプキンが欲しいと思ったのがきっかけでした。一人の社員の熱意から生まれた製品です。

オルターとして、女性スタッフに体験してもらったところ、「市販品と違ってチクチクしない」「サラサラとして使い心地が良い」「パンティーライナーが市販より大きく、しっかりして使いやすい」「絶対に必要なものなので、ぜひ扱ってほしい」などの声がありました。

日本グリーンボックスの ナチュラムーン

ナチュラムーン ナプキン 昼用・昼用羽つき・夜用

表面材	コットン
エアスルーフィルム	不織布 ポリプロピレン・ポリエチレン
紙台紙	バージンパルプ
防漏材	ポリプロピレン・ポリエチレン
吸収材	バージンパルプ
サイズ	昼用 210×80mm、厚み 2.5mm 昼用羽つき 235×125mm(羽を広げたとき 150mm)、厚み 3mm 夜用 290×100mm、厚み 4mmなので少し分厚い

ナチュラムーン おりものシート

トップシート	(一層目) オーガニックコットン無漂白不織布 表面に黒い粒々が見えることがありますが、これは、使用されている無漂白コットンに漂白されていない綿カスが残っているためなので、無漂白の証です。 安心してお使い下さい。 (二層目) エアレーイドパルプ
バックシート	ポリエチレン
サイズ	約60×155mm

市販のナプキンの 問題点

市販の使い捨てナプキンやタンポンにはケミカル素材が使われています。ポリエステル、ポリエチレン、ポリプロピレンなどの不織布です。これらプラスチック素材には帯電防止剤などキャリアオーバーの化学薬品が使われています。糸や布には塩素による漂白、蛍光増白剤、化学のり、油剤などが使われています。吸収体には高分子ポリマー、デオドラント剤、香料などが使われています。

そのため、それらの化学物質でカブレ、かゆみが起こります。子宮を冷やしますので血行障害を起こし、生理痛、子宮内膜症、子宮筋腫の原因にもなると考えられています。ムレますのでにおいも強くなります。

また使い捨てによってゴミが増え、人目を気にすることになるだけでなく、焼却時にはダイオキシンを発生させます。家庭での経済的負担も大きくなっていきます。